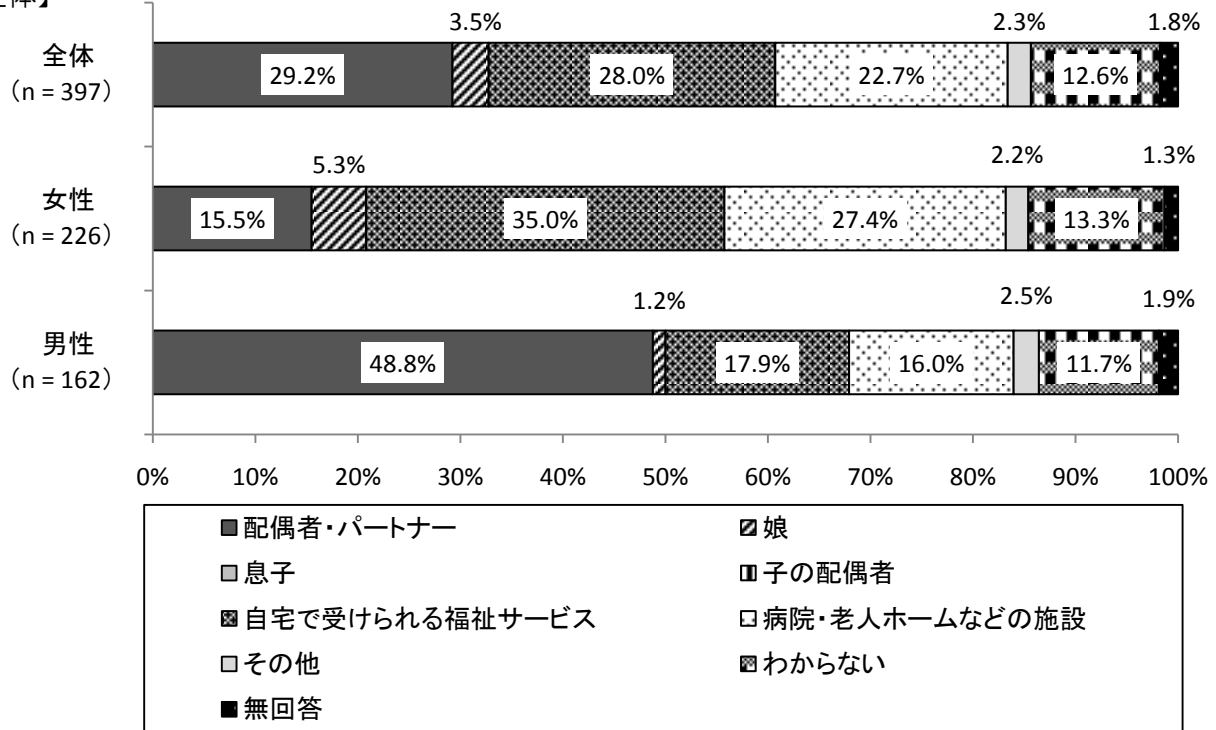


問5 あなた自身が、介護が必要になったときは、どなたに世話をしてほしいと思いますか。

【全体】



全体で最も多いのは、「配偶者・パートナー」の29.2%で、次に「自宅で受けられる福祉サービス」の28%となっている。

性別にみると、女性で最も多いのは「自宅で受けられる福祉サービス」の35%で、年代別にみると、60代が最も多く56.6%を占めている。次に女性の回答で多かったのは「病院・老人ホームなどの施設」で27.4%となっている。

男性は「配偶者・パートナー」が最も多く48.8%となっていて、年代別にみると、70代では72.7%を占めている。

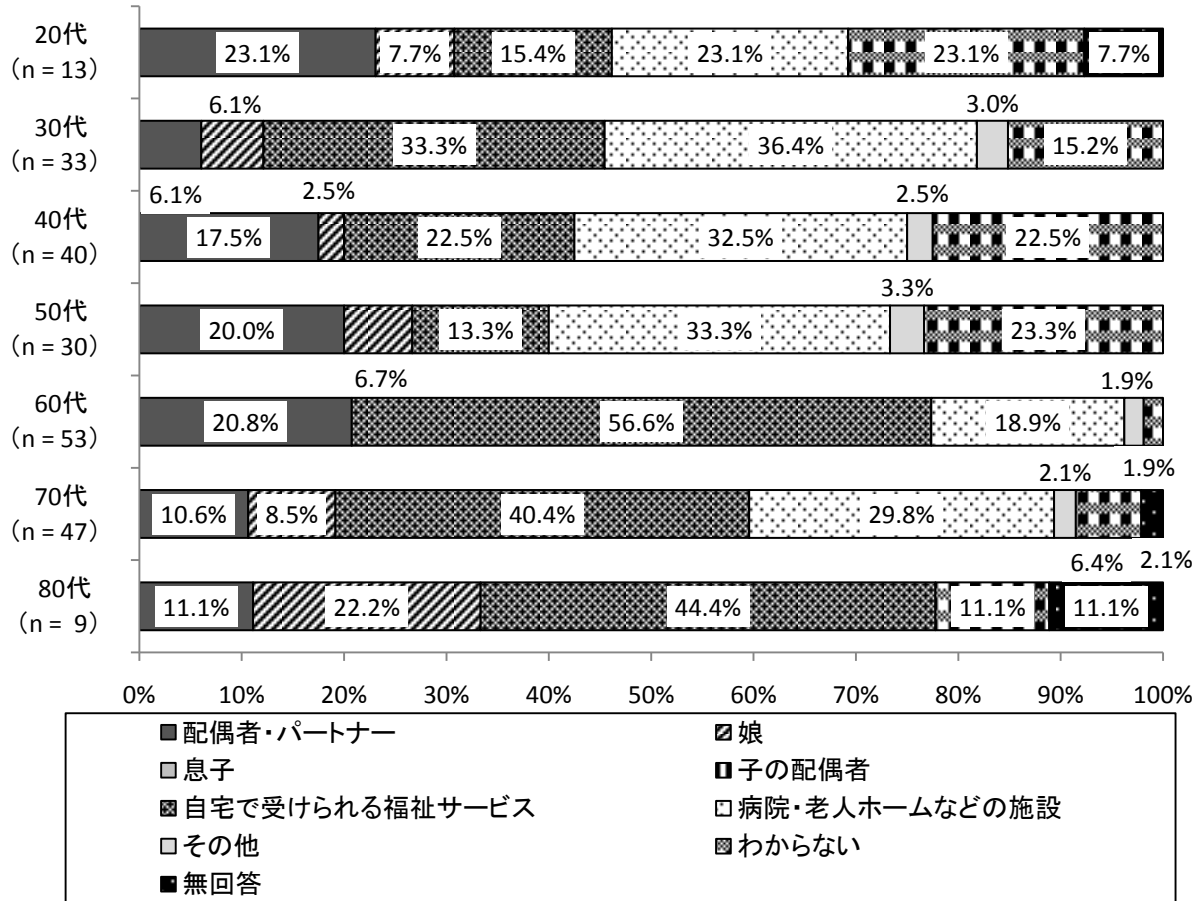
<「その他」の回答>

- ・子どもに負担のかからない施設（あれば）。
- ・現実になってみなくては、わからない。
- ・誰でも良い。
- ・入浴のスケット。トイレのスケット。病院に行ってお薬をいっしょに取りに行く。
- ・その時には死にたい。
- ・死にたい、安楽死。
- ・家族はいないが施設に入るお金もない。
- ・他人に迷惑をかけるぐらいなら死にます。
- ・その時の状態で。

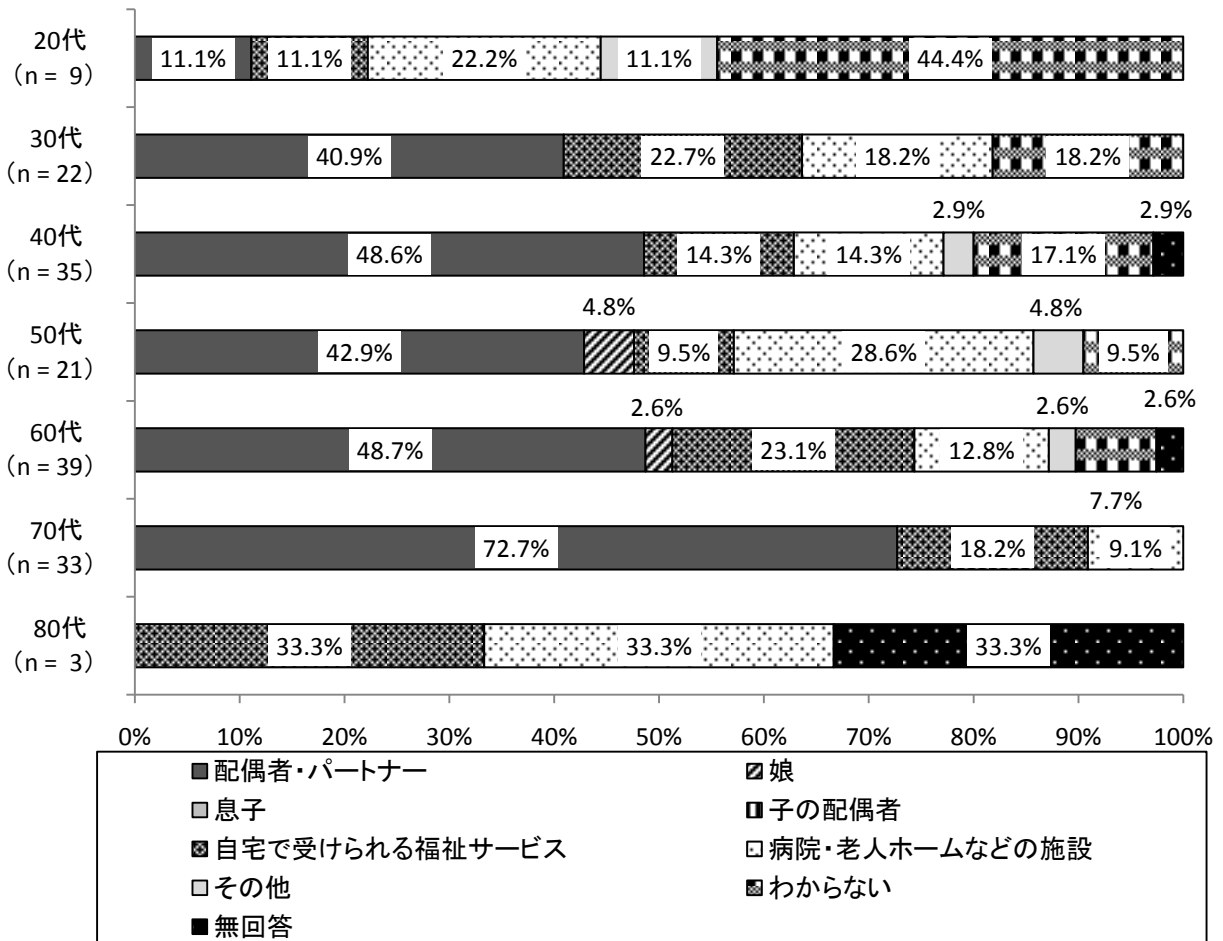


【性・年代別】

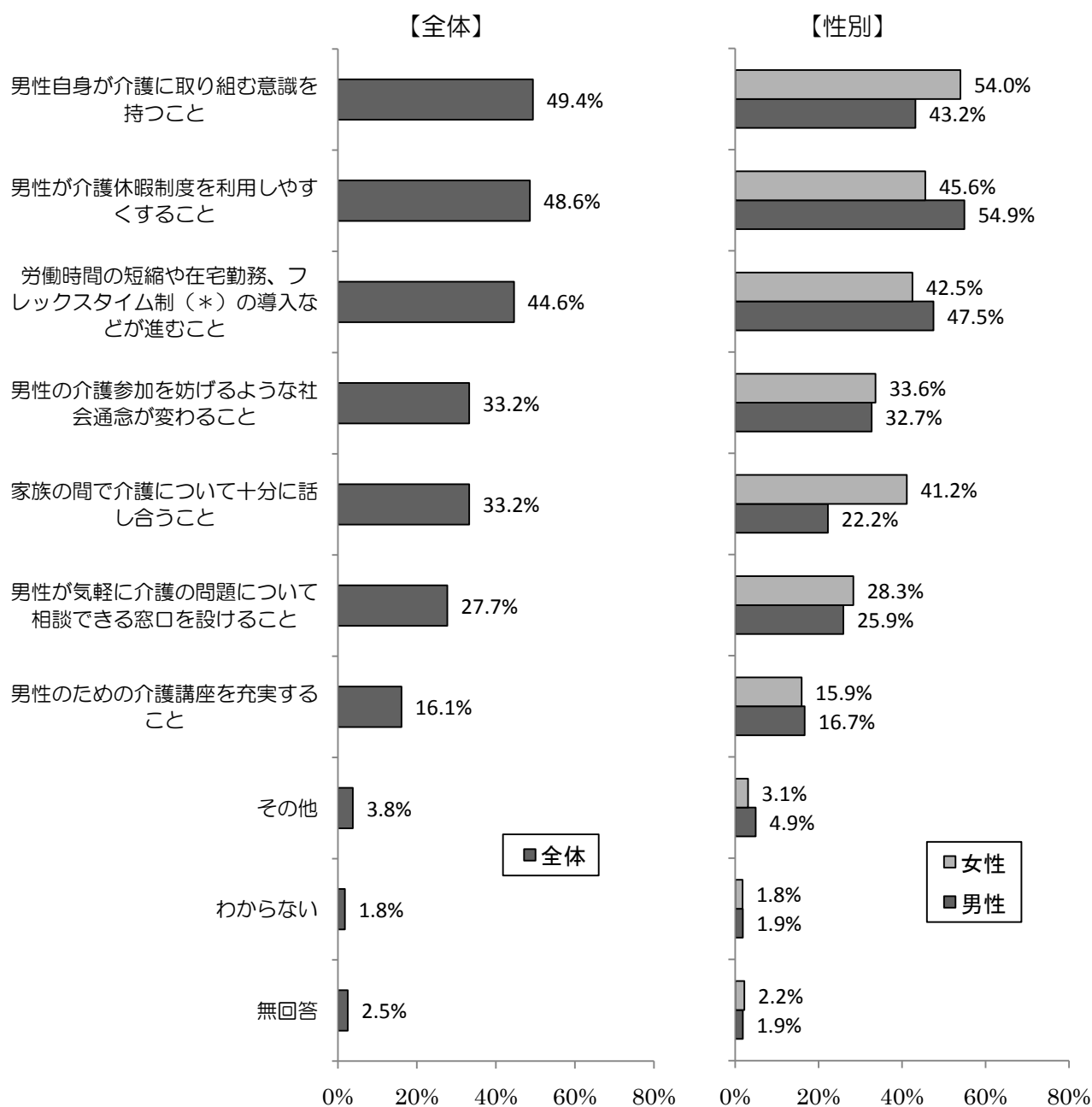
【女性】



【男性】



問6 女性が主に介護を担っているのが現状といわれていますが、今後、男性が女性とともに介護に参加していくためには、どのようなことが重要になるとお考えですか。(〇は3つまで)



全体で最も多いのは「男性自身が介護に取り組む意識を持つこと」で49.4%、次に「男性が介護休暇制度を利用しやすくすること」で48.6%、「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム制の導入などが進むこと」44.6%の順となっている。

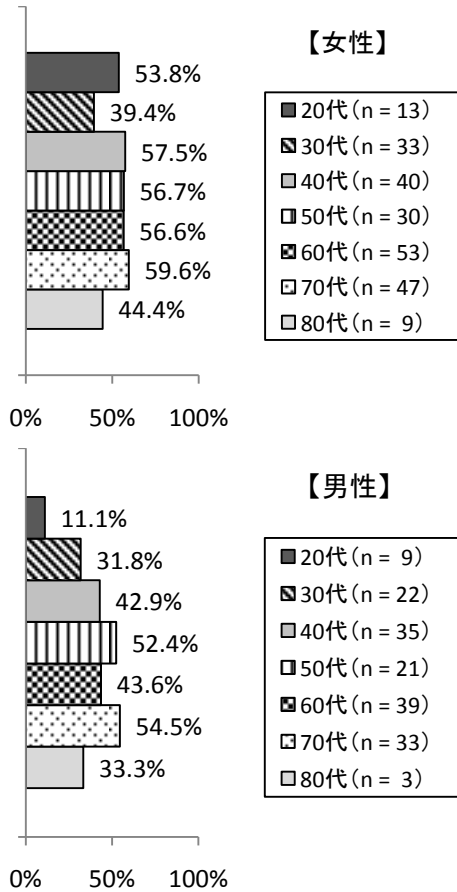
性別にみると、女性は「男性自身が介護に取り組む意識を持つこと」が54%と最も多く、男性は「男性が介護休暇制度を利用しやすくすること」が54.9%と最も多かった。

このことから、女性は男性自身が介護に取り組む意識が必要であると答えているのに対し、参加を求められている男性は介護休暇制度の利用しやすい環境の改善を求めている傾向がある。

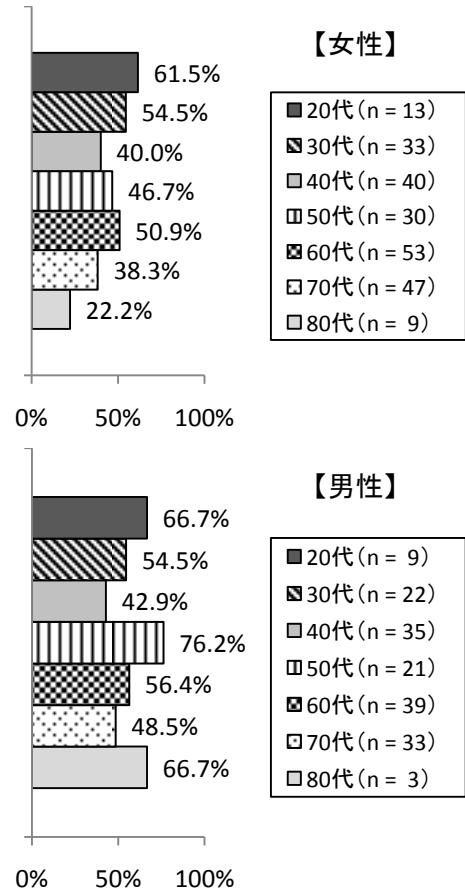
(\*) フレックスタイム制とは  
労使協定に基づき、労働者が各自の始業時刻と終業時刻を原則として自由に決められる制度のこと

<性・年代別>上位4項目

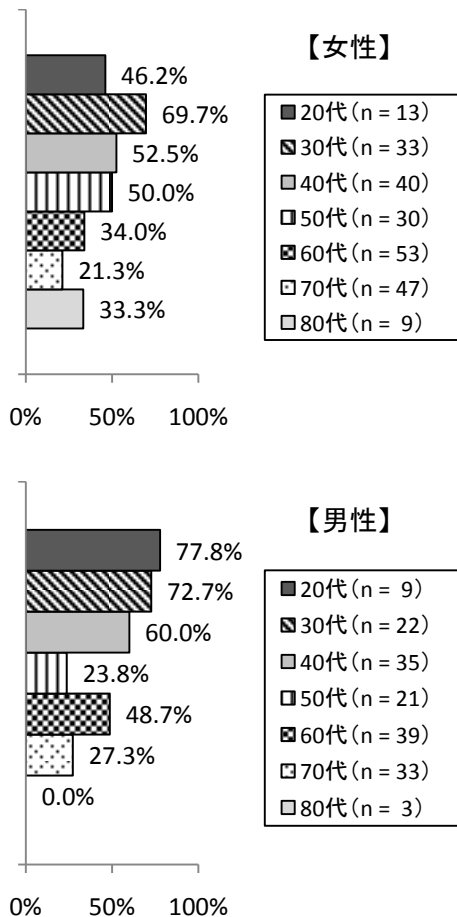
男性自身が介護に取り組む意識を持つこと



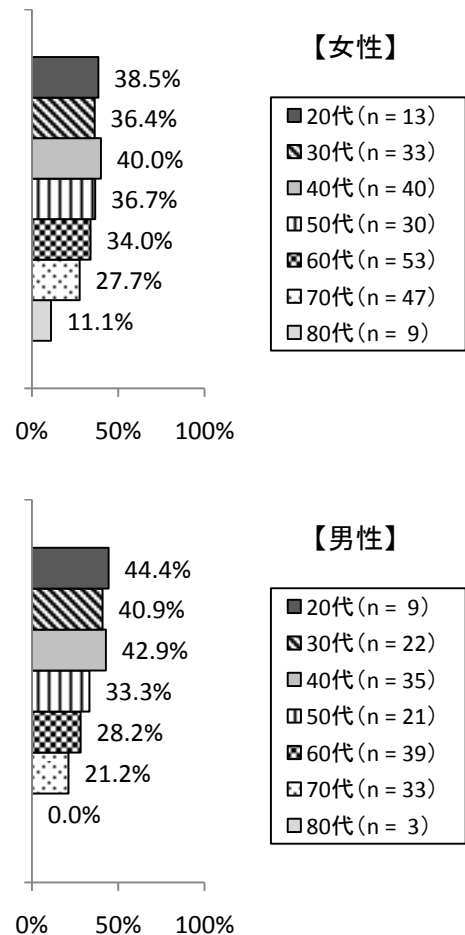
男性が介護休暇制度を利用しやすくすること



労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタ  
イム制(\*)の導入などが進むこと

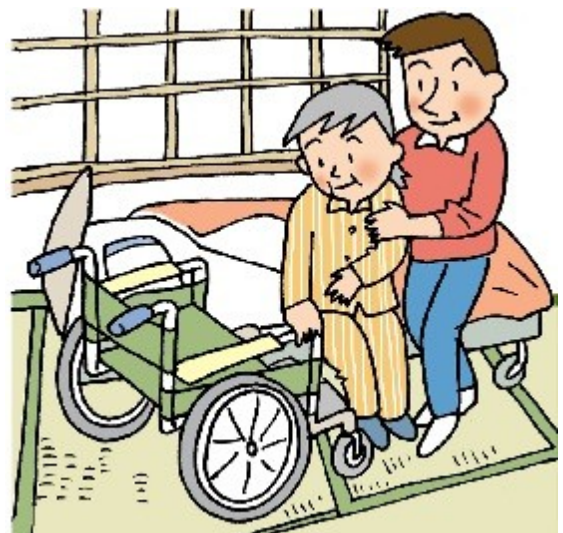


男性の介護参加を妨げるような社会通念が  
変わること

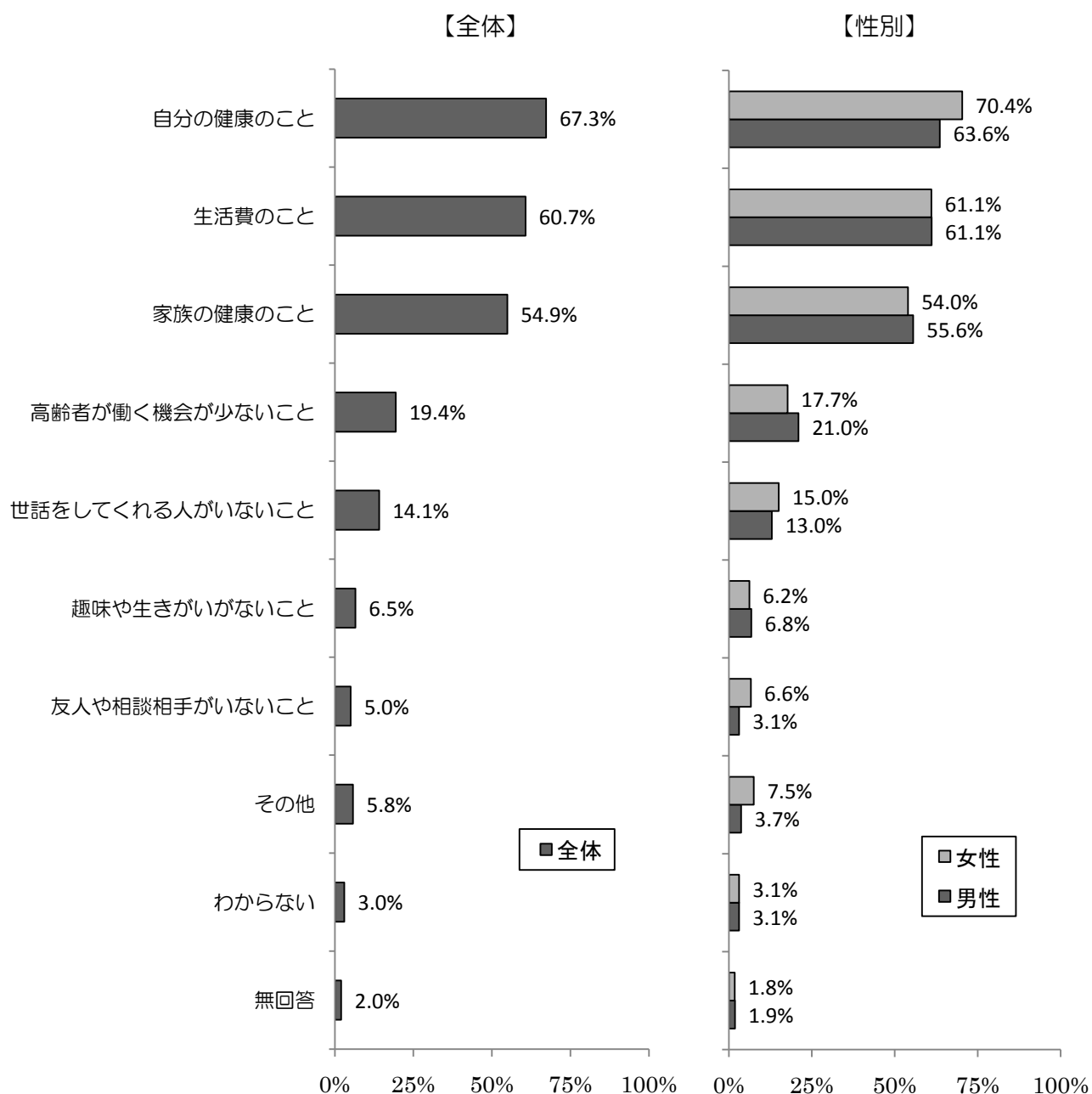


<「その他」の回答>

- ・男性も女性も同等な収入があること。
- ・介護に安心して取り組める様、経済の安定。
- ・労働・介護の時間、スケジュールを本人が選択決定でき、両方とも疎かにならないように決定させる。両方分っているのは本人なのだから、それで無理ならば介護支援に頼るしかありません。
- ・男性が介護に取り組むことの出来る社会の仕組みを取る。
- ・その時に利用できる事の指導がしてほしい。パソコン等使用していないのでH.Pと言われても困る。
- ・介護と子育ては表裏一体である。自分の過去と未来を表している。社会全体がそのことに気づくべき。
- ・現状でも必要であれば男性もやっているはず。
- ・自営業者は、制度はあっても金は入らなければ共倒れ、何とか補助してほしい。
- ・公がもっとしっかりと対応する。
- ・会社の理解。
- ・家事がしっかりできないとその上介護は無理なので、まずは家事からと思います。
- ・国の大半である中小企業においては、有給休暇ですら使えない。土曜日もほとんど出勤で、夜家に帰ると毎晩10時すぎ。
- ・経済が好転し人余りが解消されること。介護休暇と言い出したら職を失うような状況を改善するには経済の好転が必須。
- ・ホームなどの施設にお願いするのが1番良い。嫁が見るのは負担が大きすぎて家族不和のもとになる。東大和市のような古い地域はホームに預けるのが悪いという考えが残っているが、老人も人を（家族）を頼らないで、自分のことができなくなったら老人ホームに行ったほうがよい。
- ・小学校から授業でやる。



問7 あなたは老後の生活に関してどのようなことに不安を感じますか。(〇は3つまで)

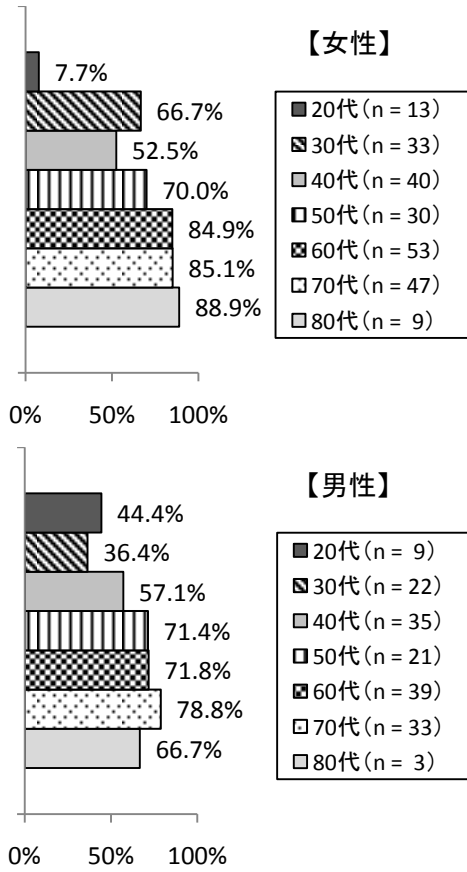


全体をみると「自分の健康のこと」が最も多く67.3%で、次に「生活費のこと」が60.7%、「家族の健康のこと」が54.9%の順となり、性別でも同じ順となっている。

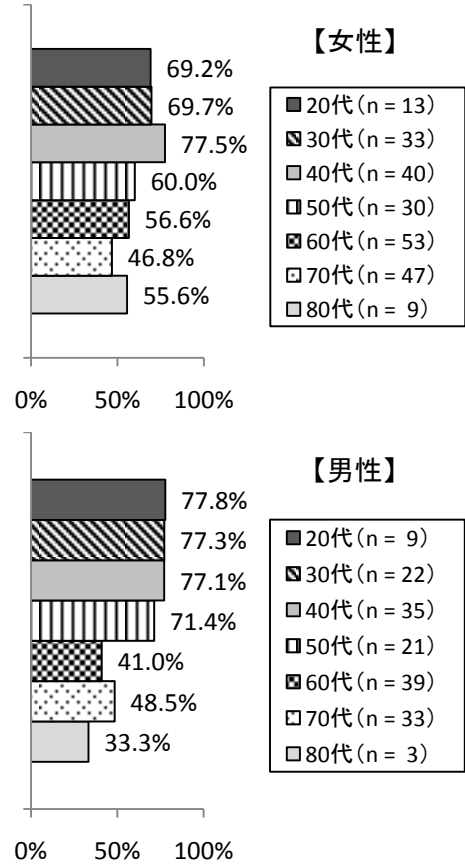
年代別にみると、男女ともに年齢が高いほど「自分の健康のこと」と「家族の健康のこと」が多く、若い世代は男女ともに「生活費のこと」が最も多くなっている。

<性・年代別>上位4項目

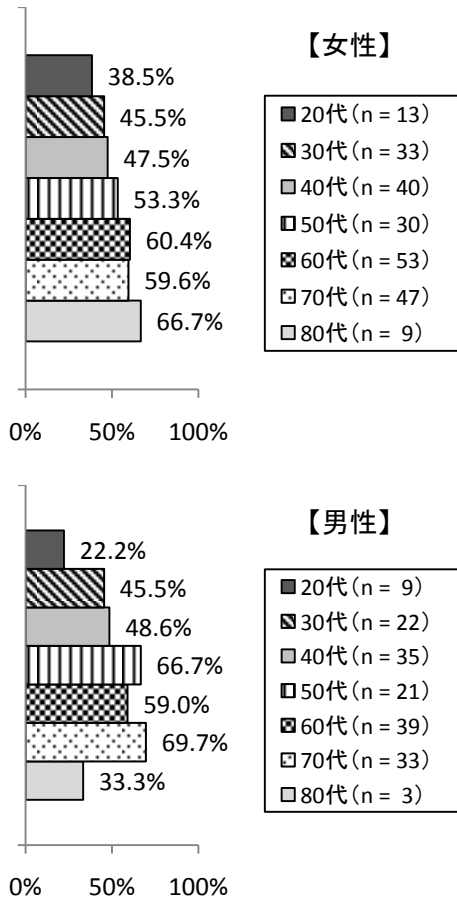
自分の健康のこと



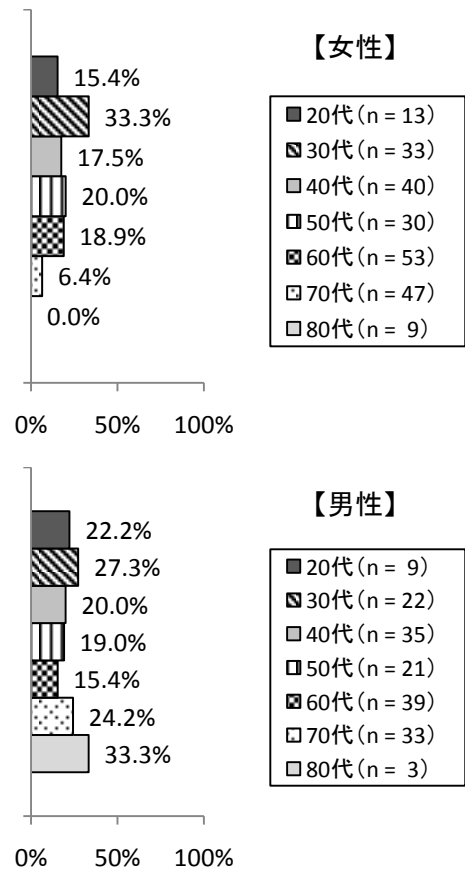
生活費のこと



家族の健康のこと



高齢者が働く機会が少ないこと



<「その他」の回答>

- ・ 家族、子どもがいないこと
- ・ 意識があるうちは好きな事をさせてほしい。意識がなくなれば（植物人間のよう）、生かされたくはありません。
- ・ 自宅以外の居場所。
- ・ 高齢による医療費の増加。
- ・ 配偶者との関係。
- ・ 一人になったら、年金が足りなくなる。
- ・ 一人娘に迷惑をかけてしまうのではないか。
- ・ 特になし。老いは楽しむものです。
- ・ 地域の見守りの充実がほしい。
- ・ なし。
- ・ 迷惑がかからないように、施設に入れるか？
- ・ 家の中の整理について。
- ・ 先がまだよく見えてないので、その場に応じてやるしかないと考えている。
- ・ 社会の急激な変化。
- ・ 年金はもらえるのか…。
- ・ 夫以外の家族がいない為。
- ・ 生活費がやっと足りている状態なのでそれ以上の出費（病気等）。
- ・ 住居のこと。
- ・ 家族の負担にならないこと。
- ・ ボケたまま生きてしまうこと。

